

1. 2023年1月～12月の気象概況

1-1 月別の東海地方の天候

1月

上旬と中旬は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多く、下旬は天気が数日の周期で変化しました。まとまった雨の降った日が少なかったため、月降水量は少なくなりました。岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。また、中旬は暖かい空気に覆われやすかった一方、下旬は強い寒気の影響を受けやすかったため、気温の変動が大きく、月平均気温は高くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「平年並」となりました。

2月

上旬と中旬は天気が数日の周期で変化し、下旬は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。下旬を中心に低気圧や前線の影響を受けにくかったため、月降水量は少なくなりました。岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。また、上旬と中旬は寒気の影響を受けにくかったため、月平均気温は高くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「平年並」となりました。

3月

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多く、中旬は天気が数日の周期で変わりました。下旬は、前半は曇りや雨の日が、後半は晴れた日が多くなりました。上旬を中心に晴れた日が多かったため、月間日照時間は多くなりました。寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温はかなり高く、平年差は+3.2℃となり、統計開始（1946年）以降、第1位の記録的な高温となりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「多い」となりました。

4月

天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧や前線の影響で雨が降り大雨や荒れた天気となった日もありました。上旬から中旬を中心に暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「平年並」となりました。

5月

天気は数日の周期で変わりましたが、上旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため月間日照時間は多くなりました。暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりました。また、低気圧や前線の影響で広い範囲で大雨となった日もあったため、月降水量は多くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「多い」、月間日照時間は「多い」となりました。

6月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線や台風からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨や荒れた天気となった日がありました。このため、月降水量はかなり多く、月間日照時間は少なくなりました。また、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「かなり多い」、月間日照時間は「少ない」となりました。

7月

月の前半は、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所がありました。後半は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。月降水量は少なく、月間日照時間はかなり多くなりました。月を通して暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。また、上空に寒気が流入し大気の状態が非常に不安定となり所々で雷雨となった日があり、突風による被害が発生した所もありました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

8月

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。また、台風や湿った空気の影響で大雨となった日もあったため、月降水量はかなり多くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「かなり多い」、月間日照時間は「平年並」となりました。

9月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風や前線及び湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や大荒れの天気となった所がありました。晴れた日が多く、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高く、月降水量は少なく、月間日照時間は多くなりました。なお、月平均気温は、平年差が+2.6℃となり統計開始（1946年）以降、第1位の記録的な高温となりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「多い」となりました。

10月

上旬は、天気は数日の周期で変わりましたが、低気圧や前線の影響を受けて大雨や荒れた天気となった所がありました。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、月間日照時間はかなり多くなりました。

月平均気温は「平年並」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

11月

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりましたが、上旬は記録的な高温となった一方、中旬は寒気の影響で気温がかなり低くなった日があり、寒暖の変動が大きくなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「多い」となりました。

12月

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間はかなり多くなりました。暖かい空気が流れ込みやすく、中旬を中心にかなり気温の高い日が続いたため、月平均気温は高くなりました。一方、上旬前半や下旬前半は、寒気の影響を受けて気温の低い日が続くなど月を通して寒暖の変動が大きくなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

注)

- ・ここでは東海地方平均の平均気温、降水量、日照時間についての特徴を記述している。東海地方平均とは、東海地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（富士山除く 14 地点）の平年差・比を平均したものである。
- ・1991～2020 年（30 年間）の 30 個の値を小さい値から順に並べ、10 個（33.3…%）ずつの 3 群に分けるように求めた境界値から、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」とした階級に区分して表す。さらに、低い（少ない）方または高い（多い）方から出現率 10%の範囲を、それぞれ「かなり低い（少ない）」、「かなり高い（多い）」と表す。

1 - 2 梅雨

梅雨入り： 5 月 29 日ごろ 「かなり早い」 （平年： 6 月 6 日ごろ）

梅雨明け： 7 月 16 日ごろ 「早い」 （平年： 7 月 19 日ごろ）

梅雨期間を含むこの 2 か月の降水量は平年を下回った所もありますが、伊良湖や浜松など平年を上回った所が多く、東海地方平均の平年比は 119%で「多い」となりました。

梅雨の時期（6 月～7 月）の東海地方の降水量（mm）及び平年比（%）

地点名	実況値	平年値	平年比
高山	499.0	431.3	116
岐阜	604.0	494.6	122
名古屋	521.5	397.9	131
上野	364.0	388.6	94
津	411.0	375.7	109
伊良湖	656.5	339.2	194
浜松	660.5	433.8	152
御前崎	563.0	478.6	118
静岡	698.0	565.5	123
三島	614.5	436.1	141
尾鷲	800.0	841.8	95
石廊崎	362.0	440.1	82
網代	417.5	494.0	85
四日市	487.0	457.0	107
東海地方の地域平均の平年比			119

1-3 台風

令和5年の台風発生数は17個（平年の発生数：25.1個）、上陸した台風は1個（平年の上陸数：3.0個）、東海地方に接近した台風は第7号、第13号の2個（平年の接近数：3.5個）でした。

台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数（確定値）

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
令和5年	発生数	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
平年	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0
	東海接近数	-	-	-	-	0.1	0.2	0.6	0.8	1.2	0.7	-	-	3.5

※東海地方に接近した台風とは、その中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた15地点）から300km以内に入った台風を指します。

東海地方に接近した台風（※第2号、第7号、第13号）の経路図

（実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間）

※台風第2号は、中心が東海地方から300km以内に入っていないが、東海地方に大きな影響を及ぼした台風であるため、台風経路を示しました。

